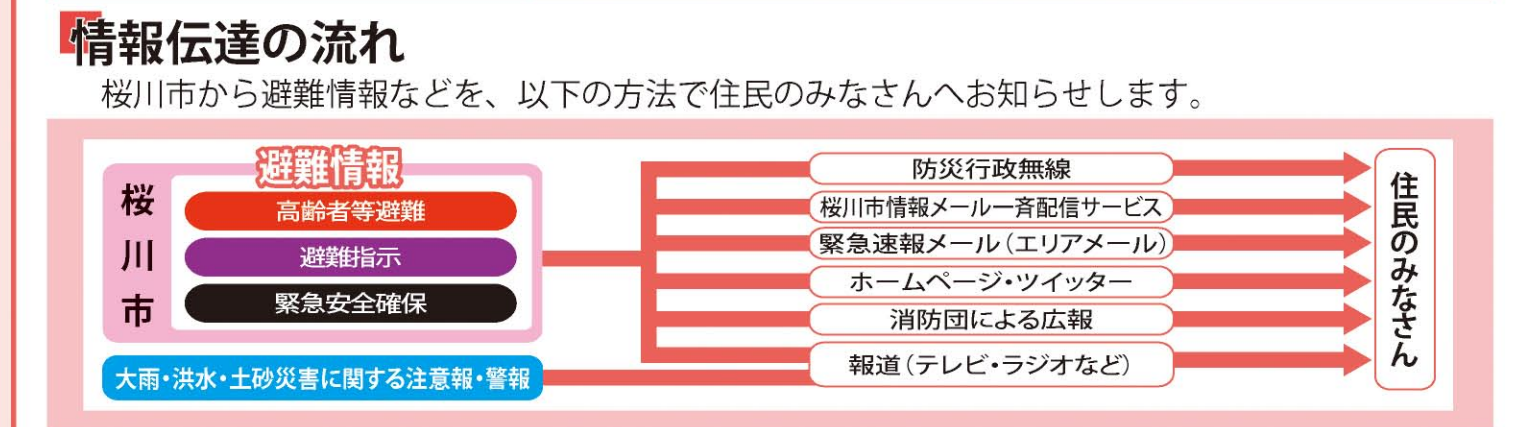


ハザードマップの使い方

ハザードマップは、水害に備えて避難行動や情報の入手先等を示したものです。いざというときに、家族や近所等で平常時より話し合い、備えておきましょう。

- 自宅や勤務先、学校などの周辺の危険箇所をハザードマップで確認しましょう。
- あらかじめ、避難場所や避難経路、家族との連絡手段などを話し合っておきましょう。
- いざというときの安全な避難行動、自衛のための備えを確認しましょう。



情報の入手先

防災情報は、様々な方法で入手できます。自ら積極的に情報を入手しましょう。

インターネット

- 桜川市ホームページ <https://www.city.sakuragawa.lg.jp/>
- 桜川市公式ツイッター https://twitter.com/sakuragawa_city
- 国土交通省 川の防災情報 <https://www.river.go.jp/index>
- 気象庁 あなたの街の防災情報 https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=class20s&area_code=0823100&pattern=default
- 茨城県河川情報システム <http://www.kasen.pref.ibaraki.jp/>
- 茨城県土砂災害警戒情報システム <https://www.dosya.kasen.pref.ibaraki.jp/dosya/>

防災行政無線

防災行政無線の放送内容をもう一度聞きたい場合、下記の番号から確認することができます。 ☎ 0120-504-115

テレビ・ラジオ放送

テレビ・ラジオを活用して気象情報や避難情報を受け取りましょう。

桜川市情報メール一斉配信サービス

<https://www.city.sakuragawa.lg.jp/page/dir00053.html>

緊急速報メール(エリアメール)

携帯電話の緊急速報メール(エリアメール)の機能を使うことで、避難の情報を受け取りやすくなります。設定方法については、携帯電話各社のホームページを確認してください。

桜川市防災アプリ さくらがわ防災

市内で放送される防災行政無線をアプリでも聞かれます。事前にダウンロードして緊急時に備えましょう。

気象情報

● 気象庁キキクル(桜川市)

大雨による災害発生危険度の高さを地図上で確認することができます。

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/elements/flood/zoom:11/lat:36.247042/lon:140.077744/colordepth:normal>

● 茨城県土木部 雨量・河川水位情報(茨城県河川情報システム)

県内にある河川の水位情報を確認することができます。

<http://www.kasen.pref.ibaraki.jp/pc/main.html?fm=openMap&no=2&no2=0&act=1>

● 茨城県土砂災害警戒情報システム

住んでいる場所が土砂災害発生のおそれがある地区であるかどうか、あらかじめ確認しておきましょう。

<https://www.dosya.kasen.pref.ibaraki.jp/dosya/genCondMapPub.jsp?lat=&lon=&data=1&kiken=7&lang=ja>

タイムライン・川の情報

大雨時の行動タイムライン

災害が発生するおそれが高まった時に、5段階の警戒レベルが発表されます。桜川市から警戒レベルに応じた避難情報を発令します。みなさんは、警戒レベルに応じた行動をしてください。

段階的に発表される気象情報・避難情報と住民のとるべき行動

警戒レベル	1	2	3	4	5
時間経過	大雨の数日前～1日前	大雨の半日～数時間前	大雨の数時間～2時間前程度		数十年に一度の大雨
大雨・洪水・土砂災害に関する注意報・警報	早期注意情報(警報級の可能性)	大雨注意報 洪水注意報(大雨警報に切り替える可能性が高い注意報)	大雨警報 洪水警報	土砂災害警戒情報 顕著な大雨に関する情報(線状降水帯)	大雨特別警報
河川の情報		氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	
市が発令する避難情報			高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
住民のみみなさんがとるべき行動	災害への心構えを高める	ハザードマップ等でとるべき行動を確認する	危険な場所から高齢者等は避難	危険な場所から全員避難	命を守るための最善の行動をとる

市内を流れる川の情報

市内を流れる桜川の情報は、気象庁のキキクルや川の防災情報、県の水位情報で入手できます。災害時には以下のような情報が発表されることがあります。

発表される情報	発表基準	水位の状況	
		基準水位 (m)	堤堰橋
氾濫注意情報(氾濫注意水位)	氾濫注意水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき(警戒レベル2相当)	河川の氾濫の発生を注意する水位	2.80 君島橋(つは市)
氾濫警戒情報(避難判断水位)	一定時間後に氾濫危険水位に到達が見込まれるとき、あるいは避難判断水位に到達し、さらに水位の上昇が見込まれるとき(警戒レベル3相当)	市からの避難情報が発表される目安となる水位	-
氾濫危険情報(氾濫危険水位)	急激な水位上昇により、あるいは氾濫危険水位を超え、さらに水位の上昇が見込まれるとき、あるいは氾濫危険水位に達したとき(警戒レベル4相当)	河川が氾濫するおそれのある水位	-

土砂災害

土砂災害について ー土砂災害の種類と前兆現象ー

大雨や台風、地震によって、地盤がゆるみ、かけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害が引き起こされる可能性があります。下記のような前兆現象を確認したらすみやかに避難してください。

かけ崩れ

地中にしみこんだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。

土石流

大雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。崩壊土砂により河川をせき止め、一気に流れる場合があります。

地すべり

大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、地面が広い範囲にわたって動きだすものをいいます。

土砂災害の前兆(前兆現象)

※下記は一般的な前兆です。すべての場所において必ず起きるというものではありません。

五感	移動主体	かけ崩れ	土石流	地すべり
視	山・斜面	● かけがれ目が見える。 ● かけから小石がバラバラと落ちる。 ● 斜面がふるみだす。	● 深流付近の斜面が崩れた。 ● 落石が生じる。	● 地面にひび割れができる。 ● 地面の一部が落ち込んだり盛り上がりつつある。
	水	● 表面流が生じる。 ● かけから水が噴き出す。 ● 湧水が濁ります。	● 川の水が異常に濁る。 ● 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。 ● 土砂の流出。	● 沢や井戸の水が濁る。 ● 斜面から水が噴き出す。 ● 池や沼の水が急激に減る。
覚	樹木	● 樹木が傾く。	● 濁水に流木が混じります。	● 樹木が傾く。
	その他		● 深流内の火花。	● 家や壁に亀裂が入る。 ● 扉や電柱が傾く。
聴覚(音)		● 樹木の根が切れる音がある。 ● 山崩れする音がある。	● 地鳴りがする。 ● 山崩れする音がある。 ● 軽石がぶつかり合う音がある。	● 樹木の根が切れる音がある。
	嗅覚(におい)		● 腐った土のにおいがある。	

● 土砂災害警戒区域とは?

土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等に危害が生じるおそれがある区域	土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に建築物に損壊が生じ、住民等に著しい危害が生じるおそれがある区域
<ul style="list-style-type: none"> ● 特定開発行為に対する許可制 ● 建築物の移転等の勧告 	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定開発行為に対する許可制 ● 建築物の移転等の勧告

土砂災害から生命を守るため、すみやかな避難ができるように、災害情報や避難情報を適切に伝達できる体制を整備します。

想定される衝撃等に対し、建築物が安全であるかどうか建築確認がされ、許可が必要です。

住宅地分譲や老人ホーム、病院など要配慮者利用施設の開発行為には、許可が必要です。

著しい損壊が生ずるおそれがある建築物の所有者に対し、移転の勧告を発令することができます。

※土砂災害警戒区域等は、住宅などがある地区を指定します。このため、住宅がない地域では、危険な区域とされていないところでも、土砂災害の可能性がります。道路の通行や避難の際には、「かけの下」「谷の下」などに注意しましょう。

避難について

避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要な物を整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また災害の危険性が想定された場合には、正確な情報を入力して、早めの避難を心がけましょう。

- **状況により、すばやく避難**
避難情報などが発令されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。
- **家族には連絡メモを残そう**
外出中の家族には「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておきましょう。
- **わが家の防災メモを持とう**
住所・氏名・連絡先などを記載した防災メモを用意し、身につけて避難しましょう。
- **車での避難は控えて**
車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は控えましょう。
- **安全なルートで避難**
川べり、がけ沿いなどは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。
- **非常持ち出し品は最小限に**
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。
- **指定緊急避難場所では指示に従いましょう**
指定緊急避難場所に着いたら、係の人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。

立退き避難(水平避難)と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。すでに避難経路が浸水しているなど、危険が近所に迫っている状況では無理な避難行動はできるだけ避け、高齢者等避難、避難指示が発令されていても、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所へ移動するという判断も必要です。また、土砂災害の危険性がある場合は、屋内でもがけと反対側に避難することも必要です。

土砂災害の危険がある場合、がけと反対側の2階以上へ避難します。何よりも命を守る行動を!!

どうしても避難場所等にたどり着かないときは、近隣建物の高層階や、自宅の2階以上へ緊急に一時避難し、救助を待つことも検討してください。

早期立退き避難が必要な区域

浸水深3.0m以上になる区域 ※建物1階建ての場合は、浸水深0.5m以上になる区域	洪水時に家屋が倒壊するおそれのある氾濫想定区域(家屋倒壊等氾濫想定区域内) ※桜川市内に設定区域はありません。	土砂災害警戒区域内 ※土砂災害からの避難は立退き避難が基本
--	--	----------------------------------

伝言ダイヤル・日頃からの備え

災害用伝言ダイヤル

● 災害用伝言ダイヤル「171」(NTT東日本) 安否確認や避難している場所を音声で伝えることができます。

利用方法: 171 にダイヤル → カイダンスが流れる → 録音の場合1 → 再生の場合2 → 市外局番から電話番号を入力

● 災害用伝言板(携帯電話各社) 携帯電話から専用の伝言板サイトで、伝言を残すことができます。

NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi> | KDDI: au <http://dengon.ezweb.ne.jp/> | ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/>

家屋のまわりを確認しましょう

- 屋根: 瓦のひびくずれはないか、タタキのめくれはげはないか。
- 窓ガラス: ひび割れ、窓枠のガタつきはないか、外側から板などでふさぐ。
- ベランダ: 鉄柱や物干しなどで飛散の危険性が高いものは室内へ。
- ブロック塀: ひび割れや破損箇所はないか。
- 外壁: 外壁に亀裂はないか、板金の場合、腐りや浮きはないか。プロパンガスのボンベは固定されているか。
- 雨どり: 目詰まりしていないか、雨水がすみやかに排出されるか。

非常持ち出し品

※準備したものに☑チェックを付けましょう。

- 飲料水
- 食料(アルファ化米・チョコレート・缶詰など)
- 貴重品(現金・通帳・保険証など)
- 乾電池・携帯充電器
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 眼鏡・コンタクトレンズ
- マスク・体温計・使い捨てカイロ
- 救急用品(ばんそうこう・包帯・消毒液・常備薬など)
- 洗面用具(歯ブラシなど)
- 手袋・使い捨て手袋
- 衣類
- タオル
- 筆記用具
- 生理用品
- フィッシュベーパー・トイレティッシュペーパー・ウェットティッシュ
- 雨具(レインコート・折りたたみ傘)
- 携帯トイレ

※乳児のいるご家庭は、ミルク・おむつ等も準備しておきましょう。

災害の危険性

浸水や洪水について

大雨が降ると河川等から水があふれます。浸水や洪水の発生メカニズムを知っておきましょう。

内水による浸水(内水氾濫)
雨の量が下水道や道路側溝などの排水施設の能力を超えたり、河川の水位が高くなったとき、雨水を排水できずに、浸水することがあります。

洪水(外水氾濫)
大雨によって河川の水位が高くなるなど堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊することがあります。

内水氾濫の発生 洪水(外水氾濫)の発生

非常に激しい雨が降ると、内水による浸水が発生します。

雨水が下水道や道路側溝などで排水できずに溜まると、内水による浸水が発生します。

さらに雨が降り続けると、河川の水位が上昇し、堤防が決壊するおそれがあります。

堤防が決壊すると、多大な被害が発生します。

雨の強さや降り方と災害の危険性

下の表は、雨の強さと降り方の目安、それに伴う災害の危険性を示したものです。普段から雨の様子に注意し、警報や避難指示が出る前でも、危険と判断すれば自主的に避難することが大切です。

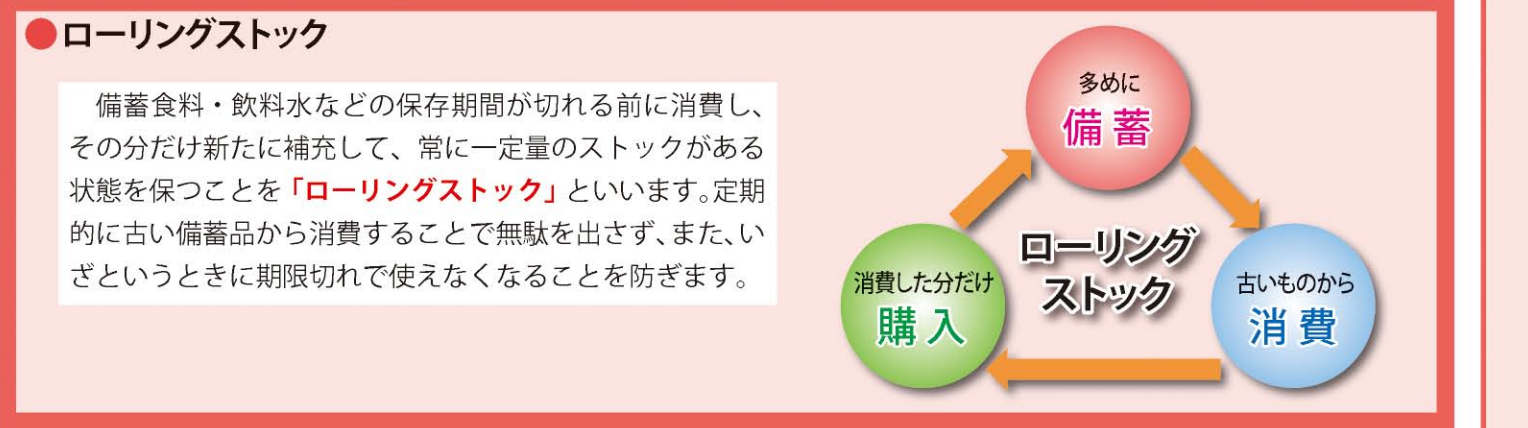
	やや強い雨 10~20mm	強い雨 20~30mm	激しい雨 30~50mm	非常に激しい雨 50~80mm	猛烈な雨 80mm~
1時間雨量と予報用語					
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴゴゴと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる
人への影響と屋外の様子	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる。車のワイパーを速くしても見づらくなる	道路が川のようになる	傘は全く役に立たなくなる。水しぶきで、あたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
災害の危険性	この程度の雨でも長く続くときは注意が必要。小規模のかけ崩れのおそれがある	側溝や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある。小規模のかけ崩れのおそれがある	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり、危険な場所では避難の準備が必要	土砂災害が起ころうとする。多くの災害が発生する	雨による大規模な災害の発生のおそれがある。警戒が必要

※表に示した雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質等の違いによって被害の様子は異なることがあります。この表では、ある雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きい被害が発生する場合もあれば、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

備蓄品(例)

災害が発生すると物流が機能なくなり、災害支援物資が届かなかったり、スーパーやコンビニで食品が手に入らなくなったりすることがあります。そのため、最低でも3日分、可能であれば1週間分程度の食品等を家庭で備蓄しておくことでよいでしょう。

- 水(1人1日3L程度)
- 野菜ジュース
- カセットコンロ、ボンベ(1人1日1本弱程度)
- 日持ちする果物類
- カップ麺類
- 菓物の缶詰
- パックご飯
- 菓物のジュース
- 乾麺(そうめん、パスタ等)
- ドライフルーツ
- 肉・豆等の缶詰
- あめ・せんべい・チョコレート等の菓子・嗜好品
- 牛丼・カレー・パスタソース等のレトルト食品
- インスタント味噌汁や即席スープ
- 梅干し、漬物、外持ちする野菜類
- 乾パン、缶詰



わが家の防災メモ

● 集合場所

災害の種類ごとに集合場所と避難先を決めておきましょう。

災害別	集合場所	避難先(第一候補)	避難先(第二候補)

● 家族の連絡先

速くに住む親戚や知人の連絡先も記入しておきましょう。

氏名	電話番号	メールアドレス